

# 校長通信（8月号）

August / 1st / 2025 / VOL 035

## 「Think Globally, Act Locally: グローバルに考え、ローカルに行動しよう」

人生において、究極の選択をしたことがありますか。誰しも大なり小なり選択を迫られます。御殿場西高校を60年前に創立した勝間田芳麿先生も、選択の連続でした。御殿場西高校の創立もかなり大きな決断であったのは間違いありませんが、1995年のKardinia International College (KIC) の創立も究極の選択、究極の決断となりました。失敗すれば痛いじゃ済まない。学校は約70名程度からスタートし、30年経った現在では幼稚園から高校までの一貫教育を行う2000人以上の生徒で溢れる学校へと成長しました。創立時、芳麿先生は70歳を超えていました。

このように僕らが集うこの御殿場西高校の創立者はなかなか型破りでファンキーな方だったんですね。やったことの規模が大きいため、そもそものポイントを見失いがちですが、芳麿先生は生まれも育ちもこの北駿地区です。英語も決してバイリンガルのように使いこなしていたわけではありません。どちらかというと英語は苦手な科目の一つだったのではないのでしょうか。それでも、オーストラリアに学校を建てることを決断し、現地の先生方、生徒たち、現地の人々と積極的にコミュニケーションをとっていきました。英単語も、英文法も、型を気にせずどんどん気持ちを伝えていく姿は、『世界の果てまでイッテQ』でお馴染みの「出川イングリッシュ」そのものでした。創立時からKICで勤務している先生が僕にこんな話をしてくれました。「KICは今やオーストラリアの中でもとても質の高い教育をする人気高の一つに成長した。世界中から視察に来る、素晴らしい学校です。ただし、KICの成功は芳麿先生夫妻がいなかったら絶対にありえないと思う。あの二人がいたから先生たちがKICに対する愛を持っているんです。」

御殿場は人口8万人の小さな市です。首都圏には比較的アクセスがいいとはいえ、人口減少や少子高齢化といった課題をたくさん抱える地方の典型的な市の一つです。そんなローカルな場所にある御殿場西高校ですが、日本中のどの学校よりも海外との強いパイプがあります。インターネットの普及、一人一台端末の普及が、これをさらに強くし加速させている側面もあります。こうした、ローカルな場所に位置しながらも、グローバルな視点を持ちながら学んでいくこと、アクションを起こしていくことは、現代の国際社会において非常に重要なポイントだと思っています。

今までは自分の手の届く範囲のことを考えていけば生きていけた時代です。自分の地域、自分の所属する世界のことだけで困ることはありませんでした。（実際にはいろいろなことがあるわけですが）しかし、インターネットが普及し、これだけグローバル化が進んだ世界において、国外に目を向けることなく生きることは不可能です。ましてや、海外から外国人労働者や旅行者がこれまで以上に増えるという未来が待っている中、世界の経済の動きや、政治に対して無関心でいられるはずがありません。さらに、環境破壊、地球温暖化、プラスチックゴミ問題などに直面している今、地球規模で考えていかなくてはなりません。世界を広く捉える力がこれまで以上に求められる時代を私たちは生きているのです。世界と常に繋がっている感覚、この地球に生きる一人という感覚を持っていくことが大切になります。

では、私たちは世界で生きるために、日本を離れ、国外にどんどん出ていくべきなのでしょうか。決してそうではありません。むしろその逆で、国際的な視野を持ち合わせながら、この地域をより活性化していく、自分が所属する学校や企業の可能性を広げていくことが大切です。本校のスクールモットー「Think Globally, Act Locally」にはそうした意味が込められています。世界はどんどん小さくなり、海外は近づきつつあります。世界と常につながりながら、地域からアクションを起こしていく時代です。それが御殿場西高校らしさでもあり、30年前にKICを創立した時から続く、御殿場西高校のグローバル教育の姿勢でもあります。

## 「野球応援」を通して実現したいこと

夏の高校野球シーズンに入りました。御殿場西高校では、野球応援を1年生の学年行事として行なっています。今年は応援団を有志で結成し、吹奏楽部のブラバンに合わせてこれまで以上に力のこもった応援をスタンドから送っています。野球部を応援すること以上に、この行事には意味が込められています。御殿場西高校は生徒たち、先生たち、卒業生たちにとっての「ホーム」です。この場所には同じ制服を着る仲間、共に時間を過ごす仲間がいます。そんな仲間が全力で頑張る時、僕は全力で応援する学校でありたいと心から思っています。応援団が全力で声を上げている時、吹奏楽部が全力で演奏している時、スタンドのみんなが全力で校歌を歌っている時、僕は御殿場西高校がみんなにとって「ホーム」なんだと実感しました。人との関係が希薄化し、無関心が進行していると言われる今だからこそ、御殿場西高校はいつまでも皆さんのホームであり続けたいと思います。



## 文化部発表会を開催

7月11日（金）生徒会が主催となり文化部発表会を開催しました。文化部の出番は例年だと文化祭となりますが、11月開催となるため2年生が中心となります。「3年生の出番が欲しい!」という声が生徒会に寄せられ、今年度は1学期の終わりに文化部の発表会を開催し、吹奏楽部、軽音楽部、ダンス部、放送部といった部活動によるパフォーマンスを全校生徒の前で行いました。比較的涼しい中での開催となり、心地よい風が体育館に吹く中、それぞれの部活動の生徒たちが素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。夏休み中に大きな大会を控える部活動も多くありますので、応援よろしくお願いたします!



## PNGプロジェクトがスタート!

7月15日（火）学校は大雨の影響で臨時休校となりましたが、勝村さん（3年）と村松さん（3年）が共同主催者となり、パプアニューギニアとの交流イベントを開催しました。第一弾となる今回は出前授業ということで、御殿場南中学校で英語教師として活躍し、JICAとして派遣されている鈴木佑先生より、パプアニューギニアの文化や歴史について学びました。なお、第2弾からは近隣の小中学生を招待して、PNGの小中学生たちとのオンライン交流を予定しています。



## 保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。4月からスタートした今年度ですが、早くも1学期が終わり、1/3が終了ということとなりました。年々、時間が過ぎるスピードが早くなりつつあると感じています。ある研究によると、時間を長く感じさせるかどうかは、「体験の数」が左右するそうです。体験の数を意識的に増やすことで、時間を長く充実したものと感じさせてくれるそうです。子どもの頃は、周囲の大人たちが日々の楽しみや行事を用意してくれましたが、大人になったら、自分で自分を楽しませるといった、より主体的に楽しむことが大切ということだそうです。高校生も自分の時間をより主体的に管理し、体験にあふれたより充実した時間を過ごしてもらいたいと思います。

〈8月の行事予定〉 8/1（金）オープンスクール1日目  
8/2（土）オープンスクール2日目  
8/12（火）～15（金）学校閉鎖（前後土日含む）  
9月1日（月）始業式

